



秋田北 仙北市長 田口氏を招いた 第1161回 モーニングセミナー

■令和7年7月31日(木)
■秋田県青少年交流センター・ユースパル

4年前に初当選し仙北市長に就任された田口知明氏を講師に迎え、「仙北市の課題と市政理念実現の取組みについて」をテーマにご講演いただきました。秋田県屈指の観光地である一方、人口減少や財政難といった多くの課題を抱える仙北市。そのような厳しい状況化でも、「幸福度NO.1のまち」を目指して取り組んでこられた数々の施策をご紹介いただきました。困難にも屈せず前進を続ける姿に、参加者一同、大いに励まされました。



県 令和8年度秋田県倫理法人会 役職者基礎研修

■令和7年8月7日(木)
■ホテルメトロポリタン秋田

令和8年度の新体制に向けて役職者基礎研修会が開催され、役員51名が参加しました。講師は、倫理研究所 北海道・東北方面 勝又一真研究員です。倫理研究所および倫理法人会の掲げる「経営者の自己革新」「心の経営」「共存共栄」を通じて、地域社会や世界の発展に貢献するという目的をあらためて共有しました。初めて役職を拝命する新任者を含め、参加者にとって日々の倫理運動への理解を深める貴重な機会となりました。

倫理の輪を広げよう——動画で学ぶ「普及の意義」

普及活動に悩まれる方へ向け、令和8年度の目標達成を目指す普及研修が開催されました。講師は弘前市倫理法人会の久保良太会長(令和7年度、令和8年度は青森県倫理法人会副幹事長)。青森県での成功事例とともに、普及の意義や具体的手法について熱意を込めてご講話いただきました。研修の様子はYouTubeで限定公開されています。単会での普及にも役立つ内容ですので、ぜひご覧ください。

編集後記

希望で周りを照らす経営へ——希望は心の太陽である。

◎この度は、倫理法人会会報誌『RINGS』をご覧いただき、誠にありがとうございます。今回は、令和8年度のスタートという節目にふさわしい記事をご紹介いたしました。◎編集後記で取り上げたいのは、倫理法人会の教えの一つ「希望は心の太陽である」という言葉です。近年、「分断の社会」という言葉を耳にする機会が増えています。世界、日本、地域社会、そして家庭に至るまで、人と人との心の隔たりが顕在化しています。◎「価値観や意見の対立」「相手を理解しよう」としない風潮「共通の土台や対話の喪失」——私たちは今、心と心が離れ合う社会に直面しています。その背景にはさまざまな要因があるでしょうが、私は「人々が希望を失っていること」が、その根本にあると感じています。◎私たちは経営を担う立場にあります。こうした分断や不安定な社会をどう捉え、どう向き合うかは非常に重要です。私たちの会社には社員がいます。その一人ひとりが、地域やこの国を支える大切な存在です。◎この混とんとした時代において、経営者こそが「希望の光」を掲げる存在であるべきです。あるいは、社員と共に希望を語り合い、分かち合うこともまた、経営者に求められる責任だと感じています。◎希望は誰かから与えられるものではなく、自らの心に見出すものです。だからこそ、経営者はその「気づき」を促す光となり、社員が自らの希望に出会えるよう照らす存在でありたいと思います。◎その源となるのが、「明朗」「愛和」「喜働」の実践なのではないでしょうか。これを積み重ねることで、良い会社がつくられ、その輪が地域社会、そして日本全体へと広がる。それが皆の幸福につながると私は信じています。◎今年度の会員目標は855社。この数字は単なる目標ではなく、「皆の幸福」へ続く挑戦です。皆さまと力を合わせ、共に達成し、倫理の輪を広げてまいりましょう。

広報委員長 二方淳介

RINGS 01 2025-2026 AKITA-RINRI

秋田県倫理法人会会報誌リングス ■発行日／令和7年10月15日 ■発行／秋田県倫理法人会 広報委員会 〒010-0951 秋田県秋田市山王3-3-9 電話018-865-1781 ■デザイン・編集・印刷／株式会社秋田精巧堂

秋田県倫理法人会会報誌



企業に倫理を 職場に心を 家庭に愛を
希望を高く 掲げよう 自ら動こう 855 社 新たな時代を 突き進もう
秋田県倫理法人会では、心の経営を目指す人々のネットワークを拡げる活動をしています

vol. 01 2025-2026 AKITA-RINRI



上段) 辞令を拝命される秋田市倫理法人会の役職者、中段左から) 男鹿倫理法人会、大館市倫理法人会の役職者、今年度のスローガンを読み上げる庄司謹成事務長、下段) 決意を一つにする令和8年度の役職者たち





【1】一般社団法人 倫理研究所の理事荒木良仁氏による式辞 【2】真鍋悟会長のいいねポーズに笑顔がこぼれる秋田中央倫理法人会の役職者たち 【3】辞令書を笑顔で掲げる藤原芳子会長 【4】辞令を拝命され真剣な眼差しの横手市倫理法人会の役職者たち 【5】決意を述べる秋田北倫理法人会の林康夫会長と笑顔で見守る由利本荘倫理法人会の平澤和子会長

令和8年度 年度はじめ式

■令和7年9月9日(火) ■ホテルメトロポリタン秋田

秋田県倫理法人会は9月9日、「令和8年度 秋田県倫理法人会 年度はじめ式」をホテルメトロポリタン秋田にて盛大に開催しました。県内各地から役職者を中心に58名が参加し、厳かな雰囲気の中で辞令が交付され、今年度の目標達成に向けてそれぞれが決意を新たにしました。

式典では辞令交付後に、藤原芳子 会長の力強くも温かい挨拶がありました。役職者一人ひとりの思いを鼓舞し、今年度の活動に向けて心をつ一つにするよう呼びかけられました。続いて、各単会会長と佐藤良一 幹事長より、単会および県における会員数増加の目標と、それに向けた具体的な行動計画が発表されました。真剣な決意表明が続く中、会場には時折笑顔や笑い声も広がり、厳肅さと和やかさが調和するひとときとなりました。

続いて、一般社団法人 倫理研究所の荒木良仁 理事から式辞が述べられ、これまでの倫理法人会の歩みや果たすべき役割が述べられました。特に印象深かったのは、「辞令」の由来についてのお話です。倫理法人会創立当初は役職依頼の際に「委嘱状」を用いていました

和の精神を胸に、新たな一歩 辞令に込められた使命を受け継ぐ

が、歴代役職者から「私たちにも辞令を交付してほしい」という強い要望があり、その声に応える形で現在の「辞令」が採用されたとのことでした。この「辞令」には、単なる依頼ではなく、天命を帯びた使命感を胸に役割を果たすという強い決意が込められています。役員一人ひとりの熱意と覚悟を尊重し、その願いを形にしたものであり、まさに先人たちの精神を受け継ぐ証であると語られました。

役員はいただいた辞令を手に、その重みと誇りを感じ取ることができ、会場全体にいっそう引き締まった空気となりました。

時代が移り変わっても、歴代役職者から受け継いできた理念と、私たち求められる役割は変わることはありません。倫理法人会は「和の精神」を軸に、明朗・愛和の実践を深める方針を掲げています。家庭や会社、地域において分断を防ぎ、心をつ一つにする取り組みが今こそ求められています。自然災害や社会の分断など、困難な課題に直面する現代だからこそ、「和の精神」を再確認し、「倫理の実践」を通じて未来を切り開いていくことの重要性を、参加者全員があらためて共有する貴重な機会となりました。

普及は体験から —— 倫理の輪を広げるために

懇親会では盛田良次名誉法人アドバイザーが挨拶と乾杯を務められました。その中で「与えられた役職や辞令は形だけのものではなく、実践を通じてこそ意味を持つ」と強調され、役職者自らが率先してモーニングセミナーに参加し学び、『職場の教養』を活用した朝礼などを通じて、家庭・会社・地域をより良くしていくことの大切さが語られました。

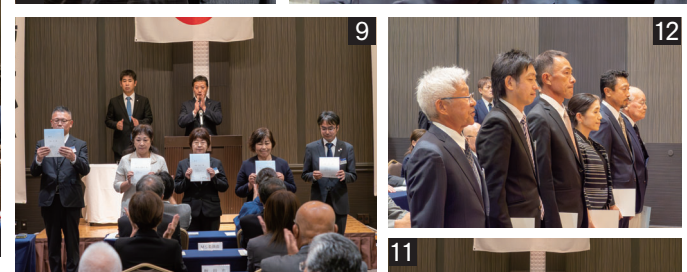
また、普及活動についても触れられました。単に会員数を増やすことが目的ではなく、自らの実践を通して「良かった」と実感したことを仲間や友人に伝えることが普及の本質にあるということです。表面的な勧誘になれば倫理の良さは伝わらず、結果早期の退会につながってしまいます。会員数の減少については少子高齢化の影響もある一方で、「外的要因を言い訳にせず、しっかり倫理の実践を重ねれば数字は必ずついてくる」との力強い言葉が添えられ、参加者にとって前向きに行動する大切さを改めて確認する機会となりました。

懇親会では新役員のスピーチタイムも設けられ、それぞれが抱負を述べられました。「役職の職責を徹底して実践し、地域や日本をより良くしていこう」という強い決意に包まれながらも、お酒を片手に秋田らしい元気あふれる楽しい懇親会となりました。



伊藤 辰郎 相談役が これまでの普及の功績が称えられ 「参事」の称号をいただきました

【13】決意を述べる新任の湯沢市倫理法人会の佐藤浩志 会長 【14】ガッツポーズで会場が盛り上がる 【15】懇親会の乾杯の発声を務める盛田良次 相談役



【6】県の最高意思決定機関の「県執行部」のメンバー 【7】【12】緊張感が漂う能代山本倫理法人会と秋田北倫理法人会の役職者たち 【8】「参事」の称号が贈られた伊藤辰郎相談役 【9】【11】各々想いを胸に辞令書を掲げる大曲倫理法人会と由利本荘倫理法人会の役職者たち 【10】はつらつとした声で年度はじめ式の司会を務める武藤由貴副幹事長

年度はじめ式にて「参事」の称号が贈られた伊藤辰郎相談役より、懇親会でご挨拶をいただきました。「職場の教養」との出会いをきっかけに23年前に入会され、当時は秋田市にしかなかった倫理法人会を自らの地域に広げようと普及活動に尽力されたことや倫理法人会で得た同志との関わり合いなどが語られました。秋田県倫理法人会の礎を築かれた伊藤辰郎相談役は、まさに「秋田県倫理法人会の心」といえる存在です。ここに改めて感謝申し上げます。



＼ 単会会長はこんな人です /

単会会長インタビュー

- ①社名 ②倫理歴
- ③どんな会にしたいか
- ④17カ条のどれが好きか

02

大曲倫理法人会



小松 利也 (こまつ としや)

- ①有限会社ふあいん
- ②4年(法人としては2014年6月入会)
- ③モーニングセミナー参加率が30%を超えて会員それぞれが活発に活動をする会にしたい。
- ④4条:人は鏡、万象はわが師

04

秋田北倫理法人会



林 康夫 (はやし やすお)

- ①株式会社 林工務店
- ②24年(2001年6月入会)
- ③明るく、楽しく、元気な会
- ④17条:人生は神の演劇、その主役は己自身である

01

秋田市倫理法人会



伊藤 みえこ (いとう えみこ)

- ①ユニバースルーム
- ②3年(2022年11月入会)
- ③共に純粋倫理を学び実践し、人格成長していくための心の旅の会にしたいです。
- ④17条:十七人生は神の演劇、その主役は己自身である

03

横手市倫理法人会

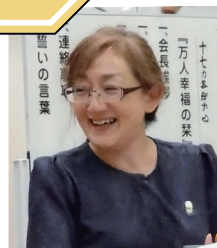


齊藤 克文 (さいとう かつふみ)

- ①株式会社マルユ よこてシティホール
- ②12年(法人としては2006年8月入会)
- ③「ありがとう」の感謝を大切に、互いを尊重し、明るく前向きに学び合える場所をつくりたい。
- ④4条:人は鏡、万象はわが師、13条:本を忘れず、末を乱さず

05

由利本荘倫理法人会



平澤 和子 (ひらさわ かずこ)

- ①一般社団法人あきた就労サポートOne
- ②4年(2019年3月入会)
- ③「行動」と「心」の実践を通して、共に成長し、人間性を磨ける単会にしたい。参加するたびに元気や笑顔が生まれ、また来たくような場を目指します。
- ④3条:運命は自らまねき、境遇は自ら造る

06

湯沢市倫理法人会



佐藤 浩志 (さとう ひろし)

- ①株式会社花よし植物園
- ②22年(2003年8月入会)
- ③「おもしろくてためになり、世の中に役立つ会」を目指す。100社を目指しつつ、ゆるぎない50社体制を維持する。MS参加者を10名にする。
- ④4条:人は鏡、万象はわが師

08

大館市倫理法人会



鳥潟 功 (とりがた いさお)

- ①有限会社 トリトンハウス
- ②20年(2005年8月入会)
- ③倫理を学び、経営と人生を豊かにする会に。明朗・愛和・喜働を大切に、地域や家族に幸せの輪を広げ、温かく深みのある単会を目指します。
- ④2条:苦難は幸福の門

10

男鹿倫理法人会



安田 張幸 (やすだ はるゆき)

- ①藤田建設 株式会社
- ②13年(2012年2月入会)
- ③皆さまと力を合わせ、明るく前向きに地域と企業を元気にする倫理法人会を共に創りたいと考えています。
- ④2条:苦難は幸福の門

07

能代山本倫理法人会



平川 義明 (ひらかわ よしあき)

- ①株式会社厨房市場
- ②21年(2004年8月入会)
- ③なごやかでうるおいのある会
- ④明朗愛和

09

秋田中央倫理法人会



真鍋 悟 (まなべ さとる)

- ①エール株式会社
- ②9年(2016年8月入会)
- ③とにかく明るく、何事もポジティブに、常に「和」をもって、人に優しく、痛みや辛さを皆で分かち合える会にしたい。
- ④1条:今日は最良の一日、今は無二の好機

モーニングセミナーは
参加して体感してこそ
魅力がわかる

あさ6時7時

忙しい経営者たちは、
朝の時間とエネルギーを有効に活用します。
お気軽にご参加ください。
参加申込みも不要で誰でもご参加いただけます。

- 秋田市/火曜日……………ホテルメトロポリタン秋田
 - 大曲/水曜日……………大曲エンパイヤホテル
 - 横手市/木曜日……………横手駅前温泉ゆうゆうプラザ
 - 由利本荘/金曜日……………ホテルアイリス
 - 秋田北/木曜日……………秋田県青少年交流センター「ユースパル」
 - 湯沢市/金曜日……………湯沢ロイヤルホテル
 - 能代山本/水曜日……………プラザ都
 - 大館市/木曜日……………大館商工会議所 5 階
 - 秋田中央/水曜日……………あきた文化産業施設「松下」
- ※開催時間6時半～7時半
- 男鹿/木曜日……………男鹿市建設業協会3階